

令和5年度

農業水路等長寿命化・防災減災事業
穂高地区 青木花見工区 水路改修工事
金抜設計書

当初

地区名	穂高地区
工区名	青木花見工区
所在地	安曇野市 穂高
事業主体名	安曇野市

**令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業
穂高地区 青木花見工区 水路改修工事
特別仕様書**

第1章 総則

この工事の施工に当たっては、
長野県農政部制定の「土木工事共通仕様書（最新版適用）」（以下「共通仕様書」という）
「土木工事現場必携（最新版）」、「設計変更ガイドライン（最新版）」、
「土木工事施工管理基準（最新版）」を適用する。
同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

この工事は、表題の事業の一環として「水路」を改修するために行うものである。

2. 工事場所

閲覧設計書に記載のとおり

3. 工事概要

この工事の概要は次のとおりである。

工事施工延長 水路工改修 L= 181 m

主要工事内訳

・ BF-700型（BP～No. 8+7. 24） L=181. 09≒181m

4. 工事数量

別冊金抜設計書による。

第3章 施工条件

1. 工程制限

該当なし。

2. 部分引渡し

該当なし。

3. 工事期間

工期は 契約日 ～ 令和 6年 2月 29日 までとする。

4. 協議関係

- ・ 本工事の着工前に「発注者、及び、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）」との協議を行うこと。
また、工事概要を書面にて関係者等へ周知すること。

5. JR大系線近接工事

- ・ 本水路は、JR大系線用地と近接工事となるため、JRへの工事申請を「安曇野市」が行っている。
施工に当たっては、発注主体である「安曇野市」及び「JR東日本」を交え協議を行うこと。
- ・ 施工にあたっては、列車見張員を配置すること（当初36人計上）。
- ・ JR近接工事であるため、出来るだけ工期の短縮を図るとともに、安全を確保する。

第4章 現場条件

1. 土質

粘質土を想定している。

2. 第三者に対する処置

施工に際しては、振動、騒音、安全対策に十分留意しなければならない。

3. 公道に隣接する工事

公道の利用または公道に隣接する場合にあたっては、標識・安全施設の設置、工事全般の安全管理上の監視等を十分実施して、安全対策に万全を期すなど、工事の施工にあたっては、これを遵守しなければならない。

4. 建設副産物の処理

別添 1 のとおり。

5. 関連工事

該当なし。

6. 関係機関との調整

別紙-1 「工程関係」 のとおり。

第5章 仮設

1. 指定仮設 【仮設計画図参照】

- | | | |
|---------|------|-----------------|
| ・ 敷鉄板 | 1回使用 | A=609㎡ (W=3.0m) |
| ・ 畦畔復旧 | 5箇所 | L=25m |
| ・ 耕地復旧工 | | A=0.1ha |
- ・ 敷鉄板は仮設計画図を参照し設置し、工事完了後には機械等により耕起を必ず行い、耕地の原形復旧を行うこと。

第6章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点

この工事の水準点は、図面に示すKBMを使用しなければならない。

(2) 検測又は確認

監督員と打ち合わせをし、必要に応じて確認しなければならない。

2. 土工

共通仕様書「第1編第3章第3節」による。

3. 水路工

共通仕様書「第2編第5章」による。

4. 工所用材料（本体・付帯工・構造物他）

既製品の使用にあたっては、施工協議後速やかに使用承認を得てから設置すること。
本工事で使用する主要材料の規格及び品質、また監督員が指示する材料については、試験成績書等を提出し承認を得なければならない。

5. 施工段階における監督員の確認

監督員による段階確認は、共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-27監督員等による確認及び立会等」に示す時期とし、書面あるいは連絡により依頼しなければならない。

共通仕様書以外の段階確認は、以下に掲げる工種、及び、施工段階において実施するものとする。

工種	確認	確認時期・頻度	備考
測点の確認	施工範囲の確認	契約後	起終点確認
丁張	中心線・計画高の確認	丁張設置前後	適宜
本土工	水路計画高等の確認	監督員の指示による	適宜
仮設工	実延長の確認	監督員の指示による	適宜
その他	監督員が定めるもの	監督員の指示による	適宜

6. 施工時の注意事項

1. JR近接工事のため、JR用地内への侵入は禁止とする。
問題が生じた場合は、監督員と協議すること。

第7章 排出ガス対策型建設機械の使用

別添3のとおり。

第8章 施工管理

1. 施工管理

共通仕様書「第1編第1章第1節1-1-34施工管理」による。

2. 主任技術者の資格

主任技術者等は別添4「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件の(1)又は(3)の資格を有するものでなければならない。

第9章 条件変更の補足説明

この工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、及び、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

1. 排出ガス対策型建設機械を使用しない場合

第10章 現場環境改善費

(1) 現場環境改善費の内容は、別添5「現場環境改善費項目」のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督員と協議実施する。

(2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督員に提出するものとする。

(3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督員に提出するものとする。

第11章 予想出来形数量の提出

受注者は、遅くとも工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、監督員に提出しなければならない。

第12章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項または、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議するものとする。

第13章 その他

1. 工事区域内外の安全について

労働基準法、その他関係法規を厳守し、安全対策に万全を期すこと。

また、資材の仮置場での事故の発生のないように、十分な配慮を行うものとする。

2. 施工計画書の作成について

契約後速やかに起工測量を行い、現場を確認し早期に提出、協議を行うものとする。

3. 主任技術者又は監理技術者の資格要件

別添4のとおり。

別添1. 建設副産物に関する取り扱い

1. 共通事項

(1) 「再生資源の利用促進に関する法律」等に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、竣工書類とともに提出すること。

なお、これらの記録は工事完成後1年間保存しておくこと。また、各様式については、監督員の指示に従うこと。

(2) 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分について

ア 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 処理委託は、収集運搬業者と処分業者のそれぞれとの委託契約書を締結すること。

ウ 産業廃棄物処理業の許可証を確認し、委託契約書に許可証の写しを添付すること。

（扱える産業廃棄物の種類、処理方法及び許可の有効期限を確認していること。）

エ 発注者から直接工事を請け負った元請業者が排出事業者となり、元請業者が建設産業廃棄物の処理責任を負う。

オ 建設産業廃棄物の収集運搬及び処分を委託する場合は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付すること。

カ 上記アからオについては、竣工検査までに監督員の確認を受け、竣工書類に以下の書類を添付すること。

①収集運搬と処分それぞれの委託契約書の写し（請負業者が両方の許可を持つ場合はひとつ）

②委託契約書に添付された許可証の写し

③マニフェストのA票、B2票、D票、E票の写し（D票、E票については、後日であっても差し支えない。）

④再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真

キ D票がマニフェストを交付した日から90日以内、E票がマニフェストを交付した日から180日以内に送付されていない場合は、地域振興局環境課又は県生活環境部産業廃棄物監視指導課に報告すること。

ク 請負者が施工計画書に記載又は整備すべき事項

処理方法	1 再資源化 2 破碎処理 3 焼却処理 4 埋立処分場 5 その他			
処理委託先 (業者)	業者名		許可番号	
	住所			
収集運搬委託先 (委託の場合)	業者名		許可番号	
	住所			
その他	資源化の方法など			

・添付書類

- 1) 処理先の許可証の写し及び収集運搬業者の許可証の写し（収集運搬を委託する場合）
- 2) 請負者と処理又は運搬業者との契約書の写し
- 3) 処理業者の所在地及び運搬ルート

2. 分別解体等及び再資源化等の条件

本工事の施工において生じる発生土・特定建設資材及び産業廃棄物の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

(1) 建設発生土（残土及び不足土） 仮設進入路の不足土はL=2.0Kmを想定している。

不足土(購入土)	指定	地区名	共和興業(株)	運搬距離	6.0	km
----------	----	-----	---------	------	-----	----

- 条件
1. 指定の場合、地区名及び運搬距離を明示する。
 2. 距離指定の場合、運搬距離のみ記入し、設計変更の対象とする。

(2) 特定建設資材（建設リサイクル法）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	再利用	
<input type="checkbox"/> セメント・コンクリート塊	再利用	
<input checked="" type="checkbox"/> 無筋Co		勝野建材(株)・共和興業(株)
<input type="checkbox"/> 鉄筋Co		
<input checked="" type="checkbox"/> 二次製品		勝野建材(株)・共和興業(株)
<input type="checkbox"/> 建設資材木材		

- 【備考】
1. 設計上の「処理施設」を明示する。
 2. 積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
 3. 上記条件明示より下回る場合は、変更の対象とする場合がありえる。
 4. 現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項については変更の対象とする。

(3) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

種別	処分条件	処理場名（運搬距離は金抜設計書参考明示）
<input type="checkbox"/> 木くず(伐根・伐採材)	再利用	
<input type="checkbox"/> 汚泥		
<input type="checkbox"/> 廃プラスチック		
<input type="checkbox"/> 混合廃棄物		

別添3. 排出ガス対策型建設機械の使用

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、

「土地改良事業等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和58年2月28日付58構改D第147号）で示す、排出ガス対策型建設機械の使用するものとする。

排出ガス対策型建設機械を使用できない場合でも、平成7年度建設技術評価制度公募課題

「建設機械の装着黒煙浄化装置の開発」または、これと同等の開発目標で実施された、民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型と同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。

排出ガス対策型建設機械あるいは装着黒煙浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備 考
バックホウ、ローラ類、発動発電機等	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw～260kw）を搭載した建設機械に限る。

【備考】 道路運送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

（注）協議の対象となる場合

- ① 工事地域周辺の市町村にあるリース会社に排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械の在庫がない。
- ② 工事地域周辺の市町村にあるメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械、あるいは同等な建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。
等を証明する書類を提出した場合に限る。

別添4. 「土木一式工事」における主任技術者又は監理技術者の資格要件

番号	資格の内容
(1)	<p>建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(2)	<p>技術検定のうち、検定種目を一級、二級の建設機械施工、若しくは、一級、二級の土木施工管理とするものに合格した者、又は建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p> <p>ただし、監理技術者については、一級の建設機械施工、若しくは、一級の土木施工管理とするものに合格した者、又は同法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣の認定した者</p>
(3)	<p>技術士法（昭和32年法律第124号）による二次試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするものに限る。）又は林業部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）とするものに合格した者</p>

別添5 現場環境改善費項目

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備
	②緑化・花壇
	③ライトアップ施設
	④見学路及び椅子の設置
	⑤昇降設備の充実
	⑥環境負荷の低減
Ass営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室、快適トイレの設置を含む）
	②労働者宿舎の快適化
	③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）
	④現場休憩所の快適化
	⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）
	②盗難防止対策（警報器等）
	③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む）
	②完成予想図
	③工法説明図
	④工事工程表
	⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む）
	⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む）
	⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営
	⑧パンフレット・工法説明ビデオ
	⑨社会貢献

（参照）工事における現場環境改善費の積算要領
<https://www.pref.nagano.lg.jp/nochi/genbakankyokaizenhi.html>

工 程 関 係

1)本工事に近接ないし競合して下記の工事が施工されるので、請負者間相互の連絡・調整を密にして施工すること。

なお、連絡及び調整事項の内容を監督員に報告すること。

発注者	工事名	工期または工事内容等	影響箇所	備 考
<p>【※】特別仕様書 第4章 現場条件のとおりとする。以下は「追加事項」を記載する。</p> <p>・施工前に、監督員を交え、協議を行い、調整を行うものとする。</p>				

(2)本工事において、施工期間及び施工方法等に下記の制約条件があるため適切な処置を行うこと。

制約条件	位置等	制約条件及び内容
数量、図面との不一致箇所協議	本工事区間内	契約後現地調査を実施し、数量及び図面との整合を図る。 不一致箇所があれば協議書に図面、写真等を添えて協議すること。
予想出来形展開図の提出	本工事区間内	受注者は、工期の「1ヶ月前」までに予想出来高を取りまとめ、出来高を提出すること。
80%出来形展開図の提出	本工事区間内	監督員の指示による。
その他	本工事区間内	本地区水路は、JR近接工事である。 施工に関しては「JR東日本」との協議を行っている。 問題が生じた時は、随時、協議をすること。

(3)本工事において、下記のとおり関係機関及び地域住民との協議をするものとしている。

関係機関等	事項	制約内容	時期
安曇野市 農林部 耕地林務課	本工事に関すること及び その他必要事項	地元対応に関すること。 既設建造物の修繕、改修に関すること。	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
安曇野市 都市建設部 建設課	その他 必要事項	既設建造物の修繕、改修に関すること。	関係課と協議の上
安曇野市 都市建設部 監理課	通行制限方法	工事区間内全面通行止め。 予告看板、迂回路看板等の設置	工期内とする
安曇野市教育委員会	小中学校の 通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
関係区長	工事内容、 工事期間、 迂回路などの説明	上記と同様	契約後即対応のこと
工事区間内住民	上記と同様	関係機関指導のもと (ただし、無理難題が出される場合には、 丁寧に断ることも必要であり、 監督員との協議をすること。 特に工事内容・金額に関わりそうなことは、 忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
工事区間内農地所有者 又は管理者及び工事区 間内への様々な物の搬 出、搬入など	稲刈り時期、その他収 穫時期、工事の進捗及 び耕作上支障となること の協議	上記と同様	上記と同様
周辺店舗など	駐車場、 案内看板などの協議	関係機関指導のもと(ただし、無理難題が出される 場合には、丁寧に断ることも必要であり、監督員と の協議をすること。特に工事金額に関わりそうなこ とは忘れずに協議すること)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする
支障工作物	特別仕様書内 記載のとおり	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと
その他	必要に応じて 対応すること	上記と同様	苦情、要望など 即対応すること。 また、工期内とする

土木工事における提出書類一覧表

請負契約後提出書類

種 類	内 容	頻 度	
1	着手届	契約毎	
2	工程表	契約毎	
3	現場代理人、主任(監理)技術者の通知	技術者経歴書の添付 資格証の写し添付	契約毎
4	技術者報告書	2,500万円以上の工事	契約毎
5	監理技術者の資格証の写し	下請金額3,000万円以上になる場合	契約毎
6	社会保険証の写し	現場代理人、主任技術者及び監理技術者のもの	契約毎
7	建退協掛金収納書の提出	800万円以上の工事では契約後1ヶ月以内に提出する。	契約毎
8	工事カルテの提出	工事金額が500万円以上の場合、契約後10日以内にJACIC((財)日本建設情報総合センター)のコンスシステムへ登録し、その「工事カルテ受領書」の写しを提出する。	1回
9	下請負人通知書	下請契約がある場合は、その金額にかかわらず報告すること。 (下請の理由を明確に記入)	各写しを協議書に添付すること。(契約書・請書等、下請業者の資格証、下請現場責任者の資格証等)
10	施工体制台帳及び施工体系図	下請契約がある場合には、全ての工事において作成し提出する。	
11	前金払請求書	請負業者において前払い金が必要な場合	契約毎
12	その他	発注者及び請負業者が必要なもの	1回
			必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事着手前提出書類

種 類	内 容		頻 度
1	工事施工計画書	詳細は別紙	契約毎
2	工事施工協議書	起工測量結果表等	工事着手後直ちに工事測量を行い、結果を監督員に提出する。
		予想出来型展開図	設計図書を基に起工測量結果を考慮して予想出来形展開図を作成する。(発注図面の利用及び舗装面積展開図)
		材料承認願	コンクリート二次製品、生コンクリート、アスファルト合材、骨材、その他工事に使用する全ての材料（必要な試験結果は契約日前6月以内であること）
		図面との不一致協議	
		周辺調査・地下埋設物調査・その他各種事前調査資料など	
3	その他	監督員の指示するもの。	必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事中提出書類

種 類	内 容	頻 度	
1 工事施工協議書	協議事項	必要回数	
	材料承認願い	変更に伴う材料 (例)使用合材及び使用骨材等の変更など。	必要回数
	予想出来形展開図	構造物の変更または舗装面積の増など。	必要回数
2 技術者等変更通知書	現場代理人、主任技術者等の変更	必要回数	
3 工期延長申請書	請負者の責により工期延長する場合	変更工程表の添付(赤黒対象)	必要回数
4 監督員指示書	監督員の指定するもの		必要回数
5 工事変更施工計画書	施工延長の変更、技術者等の変更、工期変更及び下請に変更があった場合		変更毎に
6 施工体制台帳及び施工体系図	下請契約に変更が生じた場合及び追加が生じた場合は提出する。	各写しを協議書に添付すること。	契約毎
7 事故報告書	事故があった場合		必要回数
8 完成時点予想出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図・雑工関係		80%出来形時
9 工事加への提出(変更時)	2,500円未満は不用。2,500万円以上の場合、金額変更のみの変更登録は不用。なお、登録期限は変更契約時から10日以内とする。ただし、しゅん工時登録と変更時登録の間が10日以内であれば、変更時登録を省略し、しゅん工時に登録することが出来る。	写しを協議書に添付すること	変更契約毎
10 検査記録票 (段階確認用)	監督員が指定した場合には提出すること。		必要回数
11 出来形確認申請書	請負業者において部分払いが必要な場合	業者→発注者	部分払を請求する回数は、安曇野市財務規則第137条による。
12 出来形検査結果通知書		発注者→業者	
13 部分払請求書		業者→発注者	
14 現場休業届	工期の間5日以上休む場合		必要回数
15 休日作業届	休日に作業を行う場合		必要回数
16 その他	監督員の指示するもの。		必要回数

土木工事における提出書類一覧表

工事完成時提出書類

種 類	内 容		頻 度	
1	コンス登録書(しゅん工時)	2,500円未満は不用。登録期限はしゅん工日から10日以内とする。	写しを添付すること。竣工検査までに必ず提出する。技術データ登録内容の写し添付。	しゅん工時
2	しゅん工届			しゅん工時
3	請求書			しゅん工時

土木工事における提出書類一覧表

しゅん工書類

種 類		内 容		頻 度
1	目次			契約毎
2	経緯表		施工協議書の受け渡し内容、指示書などを日付順にまとめる。	契約毎
3	施工協議書	発注者側からの協議書(指示書)も含む	日付順にまとめる。	契約毎
4	実施工程表			契約毎
5	工事記録簿(工事日誌)		工期中は空白を作らず、計画・準備・書類整備等も記入すること。	契約毎
6	監督日誌			必要回数
7	検査記録表		各工種すべて	出来形管理基準による
8	使用材料集計表			契約毎
9	各種材料受払簿			契約毎
10	使用材料伝票類	使用材料全て(しゅん工書類とは別冊で提出、検査後会社保管)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
11	100%出来形展開図	平面図・縦断図・舗装展開図等	工事完成時の設計寸法を()により記入し、実測寸法を()の外に記入する。	契約毎
12	材料試験結果	埋戻材(発生土・砕石)密度・アスファルト(厚さ・密度)・コンクリート		品質管理基準による
13	再生資源利用実施書 再生資源利用促進実施書		計画書は当初施工計画書に写しを添付し、実施書は媒体を添えて写しを提出する。	必要回数
14	産業廃棄物処理表	A、B2、D、E表の写しを最初、中間、最終を提出すること	検査終了年度から5年間会社管理すること。	写真も一緒にまとめる
15	社内検査資料	書類検査時写真及び検査記録表など		契約毎
16	工事写真		着工前、竣工、品質管理、工種別状況、その他の順番で綴る。	契約毎
17	安全教育資料		写真や安全教育資料など	契約毎
18	交通整理員集計表	伝票を集計したものを添付する。(伝票は使用材料伝票類と一緒に綴ること)	検査終了年度から5年間会社管理すること。	契約毎
19	舗装コア	検査時に持参	検査終了年度から5年間会社管理すること。	検査毎
20	その他	監督員が指示するもの		必要回数

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考	
		撮影項目	撮影時期	提出頻度		
着工前・完成	着工前	全景(始点から終点に向かって及び終点から始点に向けて撮影)	着工前	着工前各1回		
		施工延長に応じた必要なポイント				
	完成	着工前と同じ	完成後	完成後各1回		
土工	掘削	掘削状況	施工中			
		掘削深さ	床掘完了後			
		掘削幅				
	床均し	床均し状況	施工中			
	発生土処分	積込み状況	積込み状況	積込み中		
			過積載の確認			
		処分状況 (仮置場含む)	積卸し		処分地及び仮置場が異なる毎に1回の撮影とし、着工前各1回、完成後各1回	
			整地中			
			着工前			
	処分場全景 (仮置場含む)	整地中				
		整地後				
	基礎工	施工状況	施工状況	施工中		
			転圧状況			
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	埋戻し	埋戻し及び投入状況	埋戻し及び投入状況	施工中		
締固め状況						
1層毎の厚さ・幅		1層毎の発生土埋戻し完了後				
コンクリート工	型枠	施工状況	施工中			
		型枠寸法	設置完了後			
	打ち込み	打設状況	施工中			
	出来型	構造物寸法	完了後			
鉄筋工	鉄筋工	施工状況	施工中			
		鉄筋配置寸法	完了後			
二次製品布設	基礎工	施工状況	施工中			
		転圧状況				
		厚さ・幅	基礎工完了後			
	捨コン基礎	型枠施工状況	施工中			
		型枠寸法	設置完了後			
		打設状況	施工中			
		厚さ・幅	捨コン完了後			
	敷モルタル	施工状況	施工中			
		厚さ・幅	敷モルタル完了後			
	布設工	布設状況	施工中			
施工後						

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
その他の構造物	全ての工種	施工状況	施工中	特に埋設されるものは必要以上に写真を残すこと	
		完成状況	施工後		
舗装工	舗装切断	切断状況	施工中		
	舗装取壊し	取壊し状況	施工中		
		積込状況			
		現況舗装厚の検測			
	路盤工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
	表層工	施工状況	施工中		
		転圧状況			
		整正状況	整正後		
		厚さ	整正後		
		幅	整正後		
共通仮設	仮設工	現場事務所等の設置状況	設置後	種類毎に1回	
		仮設トイレの設置状況			
	水替工	ポンプ設置状況	施工中	1施工箇所に1回	
		排水状況(吐出先の状況)			
		形状寸法			
	安全施設	各種標識類の設置	設置後	種類毎に1回	
		各種保安施設の設置			
		監視員・交通整理状況	作業中	配置箇所毎に1回	
		夜間の安全施設の状況	施工中		
		安全訓練の実施状況	実施中	実施毎に1回	
使用材料	使用材料	形状寸法	使用前	使用品目及び使用部材毎に1回	
		検査実施状況	検査時	検査毎に1回	
使用機械	使用機械		使用前	機械毎に1回	

土木工事写真撮影(例)一覧表

区 分	工 種	写 真 管 理 項 目			備 考
		撮影項目	撮影時期	提出頻度	
品質管理	路床・路体	現場密度の測定	試験実施中		
	路盤工	締固め密度測定	試験実施中		
		プルーフローリング測定	試験実施中		
	アスファルト舗装 (舗設現場)	温度測定	試験実施中	合材の種類毎に1回	
		密度試験			
		採取コアAs量抽出			
		粒度分析試験			
		すべり抵抗試験			
	コンクリート	スランプ試験	試験実施中	試験毎に1回	
		圧縮強度試験			
		塩化物含有量試験			
		空気量測定			
その他	補償関係	被害又は損害状況等	発生時	その都度	
			対応状況後		
	環境対策	各施設設置状況	設置後	種別毎に1回	
	事前調査	樹木、ブロック塀、家屋のク ラックなど	着工前	実施箇所毎に1回	
			地下埋設物調査	調査後	実施箇所毎に1回
	建退協	建退協への加盟写真	実施中	1回	
	施工体制	施工体制図を掲げた写真	実施中	1回	
	安全教育	実施状況	実施中	実施毎に1回	
KY活動	実施状況	実施中	適宜		

※1 これはひとつの写真撮影例であり、工事現場ごと当該監督員と協議して決定すること。その際は、協議書を添えて協議すること。

※2 現場における黒板及びホワイトボードへ設計値及び実測値を記入すること。また、書類整備においても写真の横にある余白へ設計値及び実測値を記入すること。

※3 しゅん工書類には、区分毎及び測点毎にインデックスをつけること。

資材単価決定調書 【 見積り単価 】

穂高地区 青木花見工区

番号	名称	規格	単位	決定価格（数量）	備考
1	不足土(購入土)	埋土	m3	2,300	松本平砂利事業協同組合
2	列車見張員		人	29,800	丸正小林建設
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

総括情報表

適用単価地区 実施設計単価表等の適用日 資材等の単価の出典	50 1 1 中信(2) 05.10.01 建設物価・積算資料 当年10月号		
前払率(%) 消費税率(%) 工種 契約保証方法 施工地域区分 豪雪割増 点在工事等区分 現場環境改善費	当 世 代 40 10 % 05 水路工事 01 金銭的保証 09 補正無し 01 豪雪割増有り 02 附帯工事費等 01 率分計上有り	前 世 代	
	これらの諸経費等の条件については、原則変更協議の対象とはなりませんのでご理解願います。		

* * 本工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 本工事費 * *						
水路工						
水路土工						
掘削工						
			式			00
床掘り 土砂 小規模	52		m 3			施工 第0 -0006号表
盛土工						
			式			00
盛土 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり コンパクト ()	35		m 3			施工 第0 -0007号表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	39		m 3			施工 第0 -0005号表
埋戻 まき出し 粘性土・礫質土 締固めあり タンパ ()	51		m 3			施工 第0 -0008号表

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	56	m 3			00 施工 第0 -0009号表
整形仕上げ工		式			
法面整形 盛土部 法面締固めなし	120	m 2			00 施工 第0 -0010号表
不足土運搬工		式			
不足土積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	43	m 3			00 施工 第0 -0011号表
不足土運搬(特殊): D I D無し 土砂 4 t 積級ダンプ 運搬距離 6 . 0 k m以下	43	m 3			00 施工 第0 -0012号表
購入土(不足土) 共和興業より購入	43	m 3			00
水路本体工					
プレキャスト開渠工		式			

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工 ベンチフリューム ベンチフリュームジョイント型 700 700×440×2000mm 基礎砕石RC-40 t=10cm	171.0	m			00 施工 第0 -0014号表
掛口工布設 中信 型 掛口700型 基礎砕石有りRC - 40 t=10cm	8	箇所			00 施工 第0 -0015号表
現場打水槽工 1400(L)×1400(B)×1000(H)	1.0	箇所			科目 第0003号表
トランジションフリューム(TF)工 TF 700型 基礎砕石有りRC - 40	1.0	箇所			00 施工 第0 -0017号表
排水構造物工 蓋版据付(手間のみ) 縞鋼板蓋各種 40kg / 枚以下	3	枚			00 施工 第0 -0019号表
縞鋼板 (加工手間込み)	93	kg			00
導水管巻立Co工 掛口 中信 型-700型 520(W)×560(H)×380(L)	8	箇所			00 科目 第0002号表
硬質ポリ塩化ビニル管(VU)布設 薄肉管VU 直管(両差し口)4.0m 150mm管 人力	8.8	m			00 施工 第0 -0020号表
硬質塩化ビニル管DV継手(排水用) 90°エルボ 150	8	個			00

* * 本工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工						
構造物取壊し工						
とりこわしコンクリート殻処理工			式			00
	21		m ³			科目 第0004号表
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要						00
	0.9		m ³			施工 第0 -0021号表
産業廃棄物処理工						
産業廃棄物運搬工						
			式			
* 産業廃棄物処分費 *						
Co二次廃材等運搬 小規模 DID区間なし 6.0km以下 ハック材						00
	21		m ³			施工 第0 -0022号表
Co(無筋)廃材等運搬 小規模 DID区間なし 6.0km以下 ハック材						00
	0.9		m ³			施工 第0 -0023号表

* * 本工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
産業廃棄物処理工					
		式			
* 産業廃棄物処分費 *					
二次製品コンクリート塊処理費 中間処理場					00
	50	t			施工 第0 -0024号表
無筋コンクリート塊処理費 中間処理場					00
	2.1	t			施工 第0 -0025号表
仮設工					
指定仮設工 (仮設道路)					
		式			
敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去 供用38日 使用回数1回					00
	609	m ²			施工 第0 -0026号表
畦畔復旧 (畦畔)					00
	25	m			施工 第0 -0028号表
耕地復旧 (耕起) 石礫雑物除去必要無し					00
	0.10	h a			施工 第0 -0030号表

* * 本工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
列車見張員					
	36	人			
* * 直接工事費 * *					
運搬費					
輸送費 (敷鉄板) 往復計上 片道輸送距離 10 kmまで 製品長12m以内					00
	108	t			施工 第0 -0032号表
* * 現場環境改善費 (率分) * *					
* * 共通仮設 費率分 * *					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
* 現場管理費 *					

* * 本工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 工事原価 * *						
* 一般管理費 等 *						
* * 工事価格 * *						
* * 消費税等 相当額 * *						
* * 工事費 * *						

* * 附帯工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 附帯工事費 * *						
水路工						
水路付帯工						
付帯施設工			式			
壇板設置工 合板 t = 12mm	16		箇所			00
合板(塗装品) 12mm × 900mm × 1800mm	2		枚			科目 第0005号表 00
* * 直接工事費 * *						
* * 共通仮設 費率分 * *						
* * 共通仮設費計 * *						

* * 附帯工事費 * *

(工事費内訳書)

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 純工事費 * *						
* 現場管理費 *						
* * 工事原価 * *						
* 一般管理費等 *						
* * 工事価格 * *						
* * 消費税等相当額 * *						
* * 工事費 * *						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額						
* * 工事価格計 * *						

導水管巻立Co工

科目内訳表

掛口 中信 型-700型

520(W) × 560(H) × 380(L)

科目 第0002号表

1

箇所

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャーラン RC-40	0.20	m ²			00 施工 第0 -0003号表
型枠 一般型枠 小型構造物	0.69	m ²			00 施工 第0 -0001号表
コンクリート 小型構造物 特殊養生(練炭) 小型車割増あり 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 18-8-25(W/C=60%以下) 高炉(BB)	0.06	m ³			00 施工 第0 -0002号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

現場打水槽工

科目内訳表

科目 第0003号表

頁0-0013

1400(L) × 1400(B) × 1000(H)

1 箇所

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎碎石 12.5cmを超え17.5cm以下 再生クラッシャーラン RC - 40	3.61	m ²			00 施工 第0 -0004号表
型枠 一般型枠 小型構造物	10.79	m ²			00 施工 第0 -0001号表
コンクリート 小型構造物 特殊養生(練炭) 小型車割増あり 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 18-8-25(W/C=60%以下) 高炉(BB)	1.13	m ³			00 施工 第0 -0002号表
ステップ(コンクリート押込用) 樹脂加工品 19幅30長90cm	4	本			00
*** 単位当り ***	1	箇所			

科目内訳表

科目 第0004号表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	10.00	m ³			00 施工 第0 -0005号表
普通作業員	0.40	人			00
*** 合計 ***	10	m ³			
*** 単位当り ***	1	m ³			

堰板設置工

科目内訳表

科目 第0005号表

合板 t = 12mm

1

箇所
考

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備	考
土木一般世話役	0.031	人			00	
普通作業員	0.062	人			00	
*** 単位当り ***	1	箇所				

施工内訳表

頁0-0016

型枠
一般型枠

小型構造物

施工 第0 -0001号表

1

m 2 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工		人		型わく工		
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
型枠の種類：一般型枠				構造物の種類：小型構造物		

施工内訳表

コンクリート 小型構造物

特殊養生(練炭) 小型車割増あり

機械構成比: 労務構成比:

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

18-8-25(W/C=60%以下) 高炉(BB)

施工 第0-0002号表

標準単価:

1 m3 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員		人		普通作業員		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
特殊作業員		人		特殊作業員		
生コン 18-8-25(20)-BB (W/C=60%以下)		m3		生コンクリート 24-12-25 高炉 W/C55%		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

施工 第0 -0002号表

コンクリート 小型構造物

特殊養生(練炭) 小型車割増あり

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

18-8-25(W/C=60%以下) 高炉(BB)

1

m3 当り

機械構成比: 労務構成比:

材料構成比: 市場単価構成比:

標準単価:

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
構造物種別: 小型構造物 養生工の種類: 特殊養生(練炭) コンクリート種類: 高炉(BB) 生コンクリート小型車割増: 小型車割増あり 豪雪割増: 豪雪割増 工種条件と同じ				打設工法: 人力打設 現場内小運搬の有無: 現場内小運搬なし コンクリート規格: 18-8-25(W/C=60%以下) 生コンクリート夜間割増: 夜間割増なし 費用の内訳: 全ての費用		

施工内訳表

頁0-0019

基礎碎石
7.5cmを超え12.5cm以下

再生クラッシャーラン RC - 40

施工 第0 -0003号表

1

m2 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料 ~排ガス2014 山積0.8m3 (長期割引)		日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
特殊運転手		人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャー - ラン 40mm以下		m3		再生クラッシャーラン RC - 40		

施工内訳表

基礎碎石
7.5cmを超え12.5cm以下
機械構成比：

再生クラッシュラン RC - 40

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：
1

施工 第0 -0003号表

m2 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
碎石の厚さ：7.5cmを超え12.5cm以下 費用の内訳：全ての費用				碎石の種類：再生クラッシュラン RC - 40		

施工内訳表

頁0-0021

基礎碎石
12.5cmを超え17.5cm以下
機械構成比：

再生クラッシャーラン RC - 40

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0004号表

1
標準単価：

m 2 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料 ~ 排ガス2014 山積 0 . 8 m 3 (長期割引)		日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊作業員		人		特殊作業員		
特殊運転手		人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
再生クラッシャー - ラン 4 0 mm 以下		m 3		再生クラッシャーラン RC - 4 0		

施工内訳表

基礎碎石
12.5cmを超え17.5cm以下
機械構成比：

再生クラッシュラン RC - 40

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

施工 第0 -0004号表

1 m2 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
碎石の厚さ：12.5cmを超え17.5cm以下 費用の内訳：全ての費用				碎石の種類：再生クラッシュラン RC - 40		

施工内訳表

頁0-0023

積込（ルーズ）
土砂

小規模(標準)

施工 第0 -0005号表

1

m3 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次 山積0.28m3		供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手		人		運転手(特殊)		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：小規模(標準)		

施工内訳表

頁0-0024

床掘り

土砂

機械構成比：

労務構成比：

小規模

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0006号表

1
標準単価：

m3 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次 山積0.28m3		供用日		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回] 排ガス2次		
特殊運転手		人		運転手(特殊)		
普通作業員		人		普通作業員		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

床掘り

土砂

機械構成比：

労務構成比：

小規模

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0006号表

標準単価：
1

m 3 当り

代表機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				施工方法：上記以外(小規模) 費用の内訳：全ての費用		

施工内訳表

盛土 まき出し
粘性土・礫質土

締固めあり コンパクト()

施工 第0 -0007号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.20	人			
普通作業員	0.85	人			
諸雑費	10.00	%			
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当り ***	1	m3			
作業名称区分：盛土 まき出し 締固め区分：締固めあり コンパクト()			土質区分：粘性土・礫質土		

施工内訳表

埋戻 まき出し
粘性土・礫質土

締固めあり タンパ()

施工 第0 -0008号表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.34	人			
普通作業員	0.85	人			
諸雑費	10.00	%			
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当り ***	1	m3			
作業名称区分：埋戻 まき出し 締固め区分：締固めあり タンパ()				土質区分：粘性土・礫質土	

施工内訳表

積込（ルーズ）
土砂

小規模(標準)

施工 第0 -0009号表

1

m3 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次 山積0.28m3		供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
特殊運転手		人		運転手(特殊)		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増なし				作業内容：小規模(標準)		

施工内訳表

頁0-0029

法面整形

盛土部

機械構成比：

労務構成比：

法面締固めなし

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

施工 第0 -0010号表

1

m 2 当り

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ[クローラ型]賃料 ～排ガス2014 山積0.8m ³ (長期割引)		日		バックホウ[クローラ型]賃料		
普通作業員		人		普通作業員		
特殊運転手		人		運転手(特殊)		
土木一般世話役		人		土木一般世話役		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施工内訳表

法面整形

盛土部

機械構成比：

労務構成比：

法面締固めなし

材料構成比：

市場単価構成比：

施工 第0 -0010号表

標準単価：
1

m 2 当り

代表機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
整形箇所：盛土部 現場制約の有無：現場制約なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				法面締固めの有無：法面締固めなし 土質：ㇿ質土、砂及び砂質土、粘性土 費用の内訳：全ての費用		

施工内訳表

頁0-0031

不足土積込（ルーズ）

施工 第0 -0011号表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2014 山積0.8m3		供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2014		
特殊運転手		人		運転手(特殊)		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				作業内容：土量50,000m3未満		

施工内訳表

施工 第0 -0012号表

不足土運搬（特殊）：D I D無し
土砂 4 t積級ダンプ

運搬距離 6 . 0 k m以下

10 m 3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック（機械損料） 普通 4 t 積級 損耗費別途計上	0.60	供用日			施工 第0-0013号表
タイヤ損耗費（ダンプ） 4 t 良好	0.60	供用日			
軽油	17	L			
一般運転手	0.52	人			
*** 合計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
土量区分：1箇所当たり運搬量100m3程度 路面状況：良好 積込機械区分：バックホウ山積0 . 8 0（平積0 . 6 0）				土質区分：土砂 運搬距離（k m）：6 運搬状況区分：D I D地区通行しない	

施工内訳表

施工 第0 -0013号表

ダンプトラック（機械損料）

普通 4 t積級

損耗費別途計上

1 供用日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.00	供用日			
		供用日			
*** 単位当り ***	1	供用日			
ダンプトラック規格：普通 4 t 積級 岩石補正区分：岩石補正 なし 供用日当り運転時間（t）：0				損耗区分：タイヤ損耗別途計上 日当り運転時間（T）：0 算出単位：供用日で計算	
燃料計上（時間or日）：-1 特殊施工単価使用区分：特殊施工単価内で使用しない				労務計上（時間or日）：-1 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ	

施工内訳表

排水構造物工 ベンチフリューム
ベンチフリュームジョイント型

施工 第0 -0014号表

700 700 × 440 × 2000 mm 基礎碎石RC-40 t=10cm 10 m 当り

名称・規格など	数	量	単	単	金	備	考
			位	価	額		
排水構造物 U型側溝 (L2000) 1000kg以下 制約無 昼間	10.00		m			据付	
ジョイントベンチフリューム 700 長2.0m	4.99		本				
再生クラッシャー - ラン40mm以下	1.06		m ³				
*** 合計 ***	10		m				
*** 単位当り ***	1		m				
作業区分：据付 ベンチフリューム規格 (ジョイント型) : 700 基礎碎石規格：再生クラッシャーラン RC-40	700 × 440 × 2000 mm					ベンチフリュームの種類：ベンチフリュームジョイント型 基礎碎石施工の有無：基礎碎石施工あり 基礎碎石設計量 (m ³ / 10m) : 0.88	
施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし						夜間作業の有無：夜間作業 (20時 ~ 6時) なし	

施工内訳表

掛口工布設

中信 型 掛口700型

基礎碎石有りRC - 40 t=10cm

施工 第0 -0015号表

100

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掛口(中信型) 700型	100.00	本			
再生クラッシャー - ラン40mm以下	10.61	m ³			
排水構造物工 U型側溝据付(手間のみ) L = 1000 U型側溝質量437kg/個	100.50	m			施工 第0-0016号表
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			
規格区分: 中信 型 掛口700型 基礎碎石区分: 基礎碎石有りRC - 40 パット計上区分: パット計上無し(BF - 1用、NUJ用)					時間的制約の有無: 時間的制約なし 基礎碎石断面積(m ²): 0.088

施工内訳表

排水構造物工 U型側溝据付(手間のみ)

施工 第0 -0016号表

L = 1000

U型側溝質量 437 kg / 個

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物 U型側溝(L2000) 1000kg以下 制約無 昼間	10.00	m			据付
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
作業区分：据付(手間のみ) U型側溝の長さ：L = 1000 基礎碎石施工の有無：基礎碎石施工あり				U型側溝の種類：U型側溝各種 U型側溝質量(kg/個)：437 基礎碎石規格：再生クラッシュラン RC - 40	
基礎碎石設計量(m ³ /10m)：0 夜間作業の有無：夜間作業(20時~6時)なし				施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし	

施工内訳表

トランジションフリーム(ＴＦ)工
 TF 700型

基礎碎石有りRC-40

施工 第0-0017号表

100

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トランジションフリーム 700型 L=2.0m	100.00	本			
再生クラッシャー-ラン40mm以下	24.54	m ³			
排水構造物工 U型側溝据付(手間のみ) L=2000 U型側溝質量726kg/個	200.50	m			施工 第0-0018号表
*** 合計 ***	100	箇所			
*** 単位当り ***	1	箇所			
規格区分: TF 700型 基礎碎石区分: 基礎碎石有りRC-40 パット計上区分: パット計上無し(BF-1用、NUJ用)				時間的制約の有無: 時間的制約なし 基礎碎石断面積(m ²): 0.102	

施工内訳表

排水構造物工 U型側溝据付(手間のみ)

施工 第0 -0018号表

L = 2000

U型側溝質量 726 kg / 個

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物 U型側溝(L2000) 1000kg以下 制約無 昼間	10.00	m			据付
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
作業区分：据付(手間のみ) U型側溝の長さ：L = 2000 基礎碎石施工の有無：基礎碎石施工あり 基礎碎石設計量(m ³ /10m)：0 夜間作業の有無：夜間作業(20時~6時)なし				U型側溝の種類：U型側溝各種 U型側溝質量(kg/個)：726 基礎碎石規格：再生クラッシュラン RC-40 施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし	

施工内訳表

排水構造物工 蓋版据付（手間のみ）
 縞鋼板蓋各種

施工 第0 -0019号表

100 枚 当り

40kg / 枚以下

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
排水構造物 蓋版（コンクリート・鋼製） 40kg以下 制約無 昼間	100.00	枚			据付
*** 合計 ***	100	枚			
*** 単位当り ***	1	枚			
作業区分：据付（手間のみ） 蓋版質量：40kg / 枚以下 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし					蓋版の種類：縞鋼板蓋各種 施工箇所区分：施工箇所区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし

施工内訳表

硬質ポリ塩化ビニル管（VU）布設
薄肉管VU 直管（両差し口）4.0m

150mm管

施工 第0 -0020号表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質ポリ塩化ビニル管（薄肉管） VU 径150 長4.0m	2.44	本			
雑材料費	2.00	%			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
管種区分：薄肉管VU 直管（両差し口）4.0m				管径区分：150mm管	

施工内訳表

施工 第0 -0022号表

Co二次廃材等運搬

小規模 DID区間なし 6.0km以下

バックホ

1

m3 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
一般運転手		人		運転手 (一般)		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場: 小規模 土質: 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離: 6.0km以下				積込機種・規格: バックホ DID区間の有無: DID区間なし 豪雪割増: 豪雪割増 工種条件と同じ		

施工内訳表

施工 第0 -0023号表

Co(無筋)廃材等運搬

小規模 DID区間なし 6.0km以下

バックホ

1

m3 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代表機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
一般運転手		人		運転手 (一般)		
軽油		L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場: 小規模 土質: 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離: 6.0km以下				積込機種・規格: バックホ DID区間の有無: DID区間なし 豪雪割増: 豪雪割増 工種条件と同じ		

施工内訳表

敷鉄板設置・撤去工
設置～賃料～撤去 供用38日

使用回数 1回

施工 第0 -0026号表

1000 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板(リース)	1,000.00	m2			
敷鉄板整備費	1,000.00	m2			
特殊作業員	2.90	人			
普通作業員	2.90	人			
バックホウ(加圧型クレーン機能付)(機械賃料) 山積0.8(平積0.6)m3 2.9t吊 超低騒音排対型3次 賃料長期割引有(30日)	3.31	日			施工 第0-0027号表
軽油	345	L			
特殊運転手	2.90	人			
*** 合計 ***	1,000	m2			
*** 単位当り ***	1	m2			
施工区分：設置～賃料～撤去 使用回数：1 敷鉄板整備費単価：				供用日数：38 敷鉄板単価： 1工事当たり機械総供用日数区分(BH)：30日以上	

施工内訳表

1 日

80

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
バックホウ(クローラ型) (機械賃料) 山積0.45(平積0.35)m3法面バケット付 排対型1次 賃料長期割引有(30日以上)	1.54	日			施工 第0-0029号表
軽油	49	L			
特殊運転手	1.00	人			
普通作業員	1.60	人			
合計		m			1日当たり作業量(m)= 80
*** 単位当り ***	1	m			
環境対策有無区分：排対型1次				1工事当たり機械総供用日数区分：30日以上	

施工内訳表

耕地復旧（耕起）
石礫雑物除去必要無し

施工 第0 -0030号表

0.01 ha 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トラクタ（ホイール式）運転経費 22KW級 （燃料別途）	0.29	時間			施工 第0-0031号表
軽油	0.8	L			
雑品	14.00	%			
*** 合計 ***	0.01	ha			
*** 単位当り ***	1	ha			
石礫雑物除去区分：石礫雑物除去必要無し					

施工内訳表

施工 第0 -0031号表

トラクタ（ホイール式）運転経費
2.2KW級

(燃料別途)

1 時間 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
農用トラクタ[乗・ホイール] 四輪駆動2.2kw級(30PS)	1.00	時間			
一般運転手	0.19	人			
*** 単位当り ***	1	時間			
トラクタ規格：2.2KW級 供用日当り運転時間(t)：0 燃料計上：-1 特殊施工単価使用区分：特殊施工単価内で使用しない				日当り運転時間(T)：0 算出単位：時間で計算 労務計上：0 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ	

青木花見 地区

数量計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
土工						
床掘	BH	別紙;土積計算書 より	52.30	≒ 52	m3	
盛土	人力締固め	別紙;土積計算書 より	35.20	≒ 35	m3	
	BH投入	盛土(人力締固め) ÷ 0.9 =	39.11	≒ 39	m3	
埋戻	人力締固め	別紙;土積計算書 より	50.60	≒ 51	m3	
	BH投入	埋戻(人力締固め) ÷ 0.9 =	56.22	≒ 56	m3	
不足積込(BH)	購入土	$(39.11+56.22)^{m^3}-52.30^{m^3}=$	43.03	≒ 43	m3	
不足土運搬	4tDT、L=6.0Km		43.03	≒ 43	m3	
不足土代	購入土	松本平砂利事業協同組合単価 2,300円/m3	43.03	≒ 43	m3	
法面仕上げ	盛土部	別紙;土積計算書 より	120.20	≒ 120	m2	

青木花見 地区

数量計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
導水管(塩ビ管)	VUΦ150	計画図(2/6)による				
	右田①		1.20			
	右田①		0.90			
	右田②		0.90			
	右田③		0.60			
	右田④		0.80			
	右田⑤		1.60			
	右田⑥		1.70			
	右田⑦		1.10			
	計		8.800	≒ 8.8	m	

青木花見 地区

数量計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
廃棄物運搬						
Co二次廃材運搬	Dt4t L=産廃運搬図記載	二次製品取り壊しと同様	21.18	≒ 21	m3	
Co(無筋)取り壊し		Co(無筋)取り壊しと同様	0.90	≒ 0.9	m3	
廃棄物処理						
Co二次廃材処理費		別紙; 二次製品取り壊し計算書 より	49.78	≒ 50	t	
Co(無筋)廃材処理費		〃	2.12	≒ 2.1	t	

Co(無筋)取壊し計算書

青木花見工区

(当初)

測点(区間内)	延長 m	名称	単位重量 kg/本,個	単位長さ m	1m当り重量 kg/m	取壊し重量 t	単位体積重量 t/m3	取壊し量 m3	備考
									計画図(5/6)より
③		Co(無筋)				2.12	2.35	0.90	$V=(1.3 \times 1.3 \times 1.09) - (1.0 \times 1.0 \times 0.94) = 0.90m^3$
計						2.12		0.90	

【附帯工事】

堰板詳細図

○堰板設置

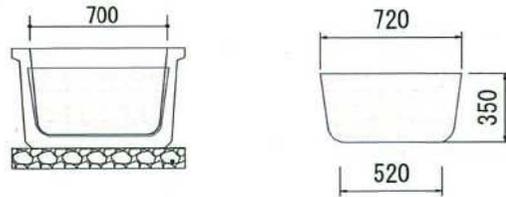
$$\Sigma n(\text{本線}8+\text{掛口}8)=16\text{ヶ所}$$

○堰板：合板(塗装品)1.8×0.9m/枚

$$\Sigma A(\text{本線}1.76+\text{掛口}0.80)\text{m}^2 \div 1.64\text{m}^2/\text{枚} \div 2\text{枚}$$

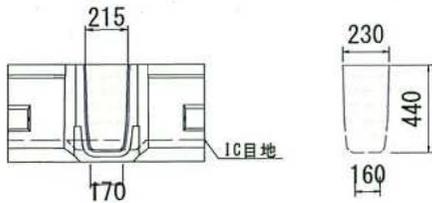
(BP~No. 13 区間)

BF-700(Ⅱ)型



【R4】1枚/0.22m²×4ヶ所=0.9m²
 【R5】1枚(0.22m²)×8ヶ所=1.76m²

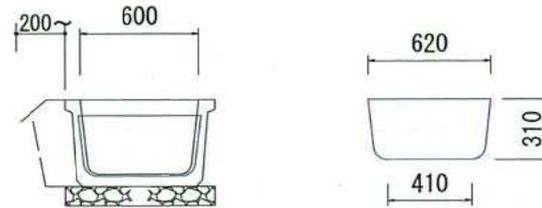
掛口600型



【R4】1枚/0.09m²×12ヶ所=1.0m²
 【R5】1枚(0.09m²)×0ヶ所= - m²

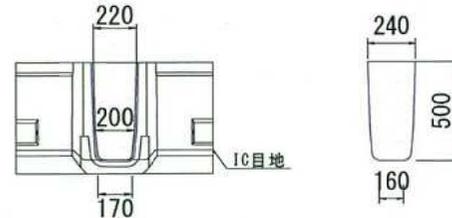
(No. 15~No. 33)

BF-600(Ⅱ)型



【R4】1枚/0.16m²×12ヶ所=2.0m²
 【R5】1枚(0.16m²)×0ヶ所= - m²

掛口700型



【R4】1枚/0.10m²×4ヶ所=0.4m²
 【R5】1枚(0.1m²)×8ヶ所=0.8m²

計画平面図 S=1/500

【※注記】
 ◎ 掛口 : ←
 ◎ 排水 :

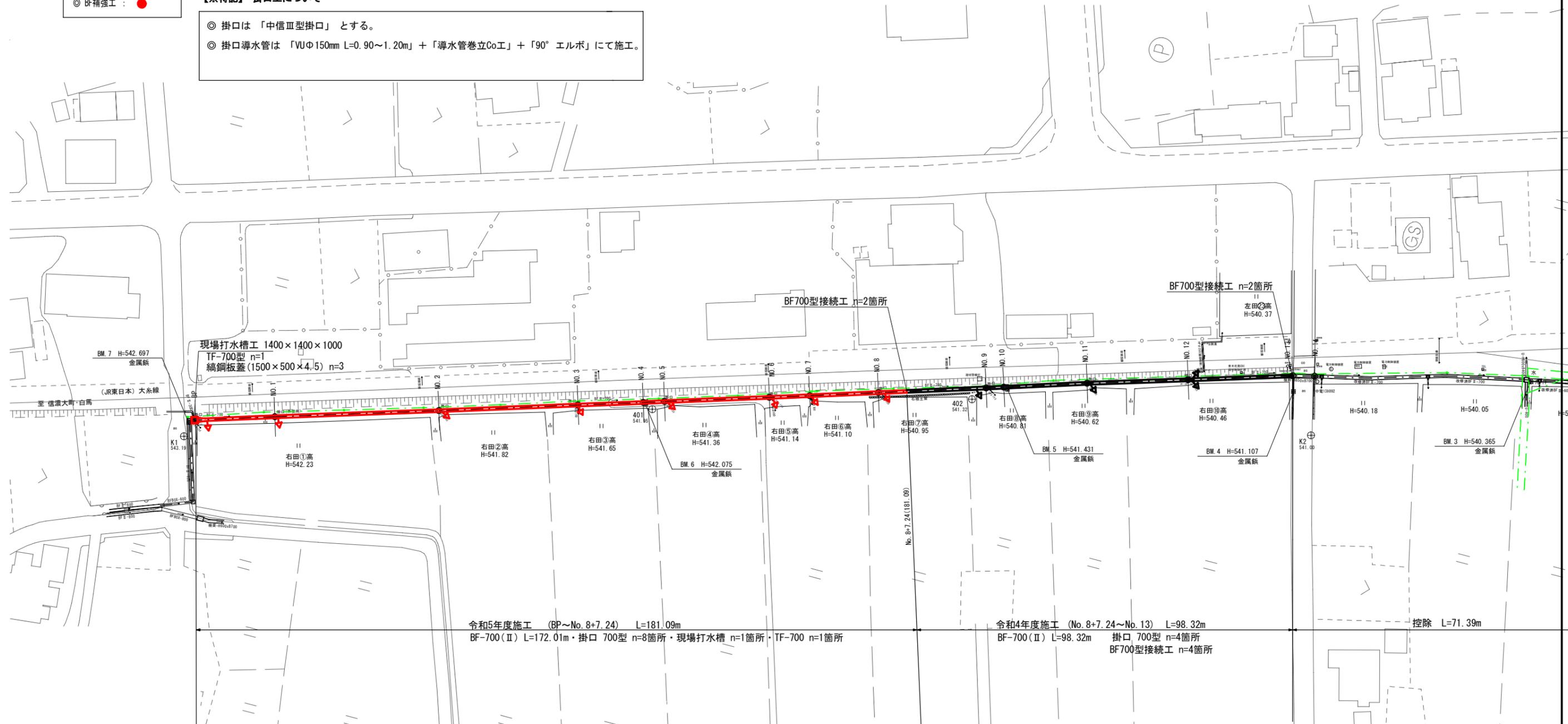
【※注記】
 ◎ BF補強 : ●

【※特記】 施工について
 ◎ 施工に伴い不明な点等発生した場合には、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 水路法線について
 ◎ 水路の法線については『丁張前後』で、必ず監督員と協議を行うこと。

【※特記】 掛口について
 ◎ 掛口は「中信Ⅲ型掛口」とする。
 ◎ 掛口導水管は「VUΦ150mm L=0.90~1.20m」+「導水管巻立Co工」+「90°エルボ」にて施工。

【※特記】 列車見張員について
 ◎ 本地区は「JRの近接工事」となる為、列車見張員を計上。
 ◎ 列車見張員については、監督員と協議のうえ変更対象とする。
 ◎ JR工事申請を「安曇野市」で行っている。施工前に、必ず監督員と協議を行い、注意事項等の確認を行うこと。



令和5年度施工 (BP~No. 8+7.24) L=181.09m
 BF-700(Ⅱ) L=172.01m・掛口 700型 n=8箇所・現場打水槽 n=1箇所・TF-700 n=1箇所

令和4年度施工 (No. 8+7.24~No. 13) L=98.32m
 BF-700(Ⅱ) L=98.32m 掛口 700型 n=4箇所
 BF700型接続工 n=4箇所

控除 L=71.39m

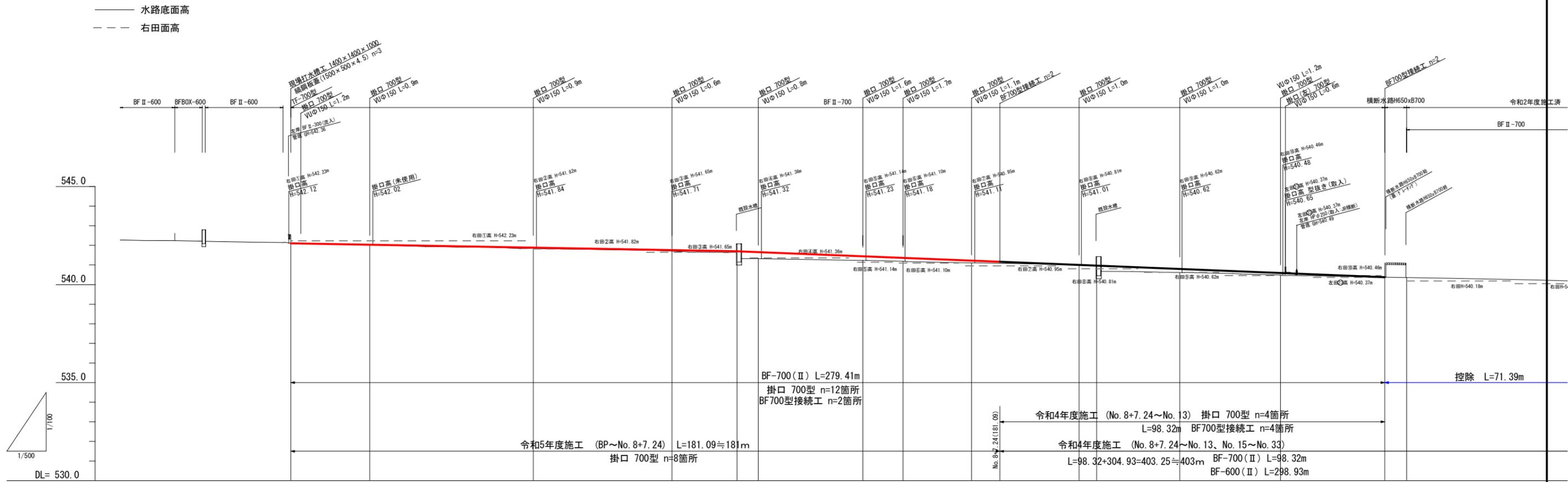
令和4年度施工 (No. 8+7.24~No. 13, No. 15~No. 33)
 L=98.32+304.93=403.25≒403m BF-700(Ⅱ) L=98.32m
 BF-600(Ⅱ) L=298.93m
 自由勾配側溝(横断用) 600x500 L=6.0m

基準点及びBM座標				任意座標			
測点	X座標	Y座標	標高	測点	X座標	Y座標	測量標高
BM. 4	111.127	382.376	541.107	BP	104.121	103.011	542.10
BM. 5	111.769	309.603	541.431	NO. 1	104.927	123.139	542.02
BM. 6	107.946	217.507	542.075	NO. 2	106.448	164.887	541.86
BM. 7	103.491	101.182	542.697	NO. 3	107.857	200.296	541.71
				NO. 4	108.487	216.888	541.63
				NO. 5	108.719	222.319	541.33
				NO. 6	109.751	248.990	541.23
				NO. 7	110.175	259.269	541.19
				NO. 8	110.948	276.726	541.11
				NO. 9	112.107	304.177	541.01
				NO. 10	112.294	308.688	540.99
				NO. 11	113.272	329.853	540.62
				NO. 12	114.150	355.571	540.49
				NO. 13	115.119	382.200	540.37
				NO. 14	114.999	387.769	540.36
				NO. 15	113.457	453.530	539.89
				NO. 16	111.684	466.853	539.80

事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	計画平面図(1/2)		
縮尺	図示(A1)	図面番号	1 / 6
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

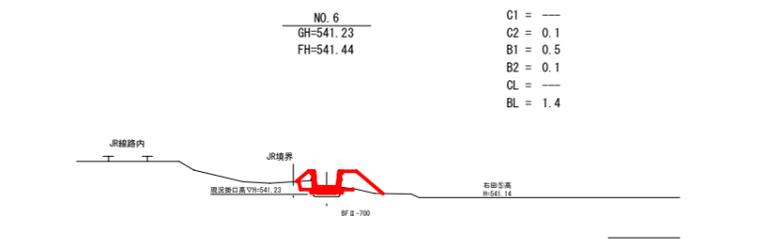
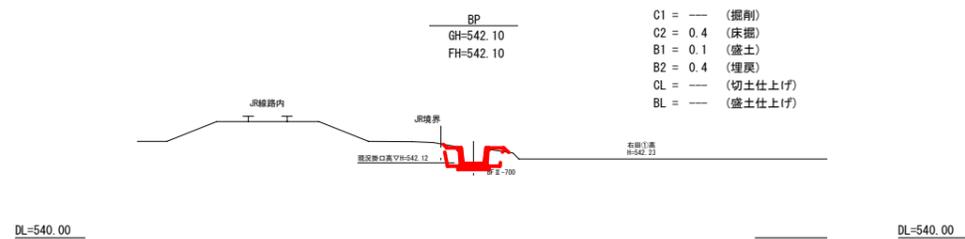
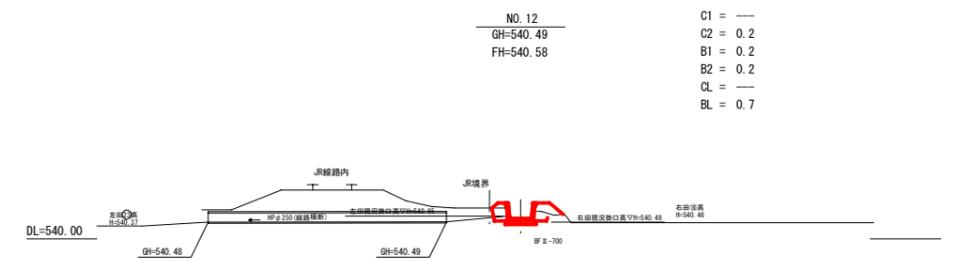
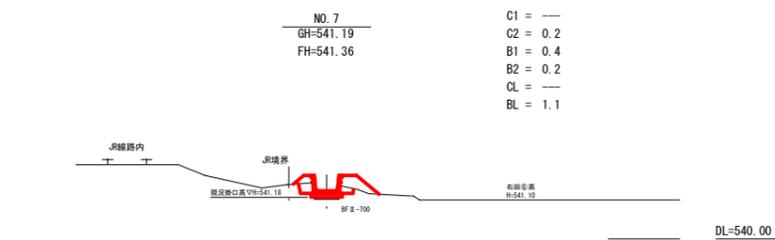
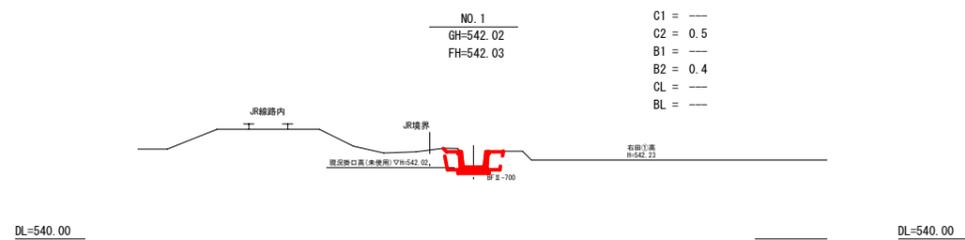
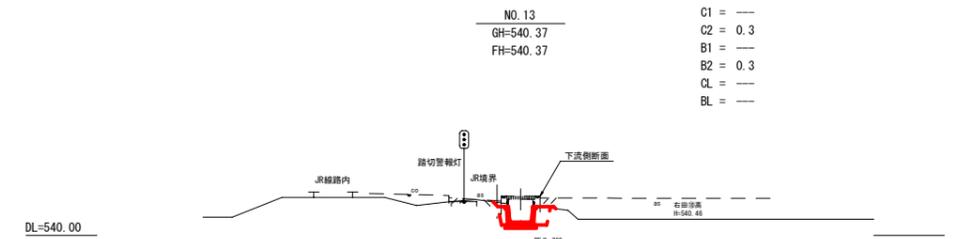
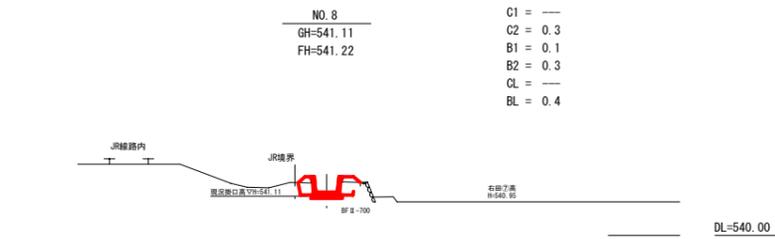
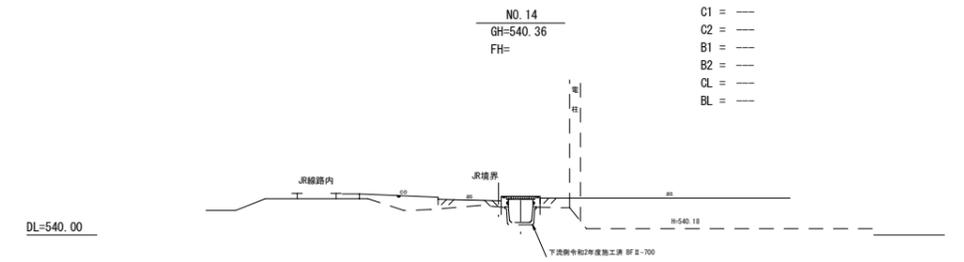
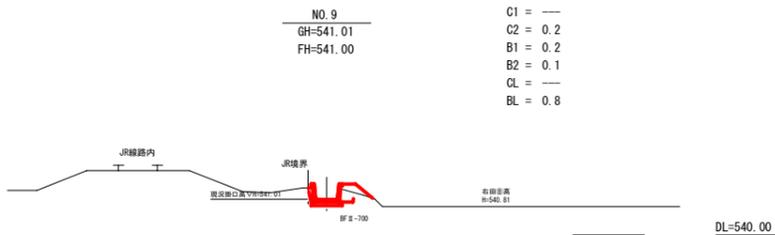
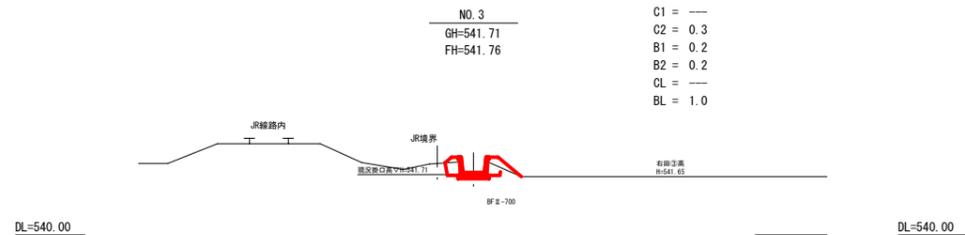
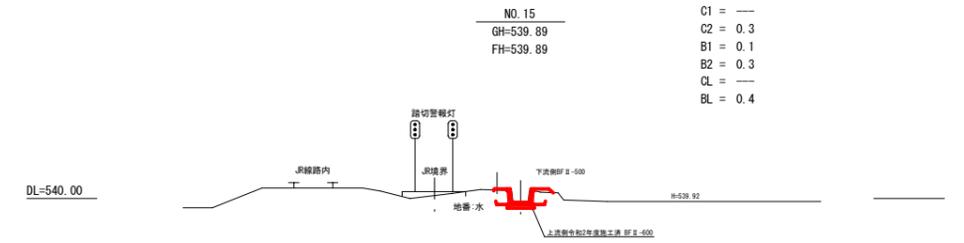
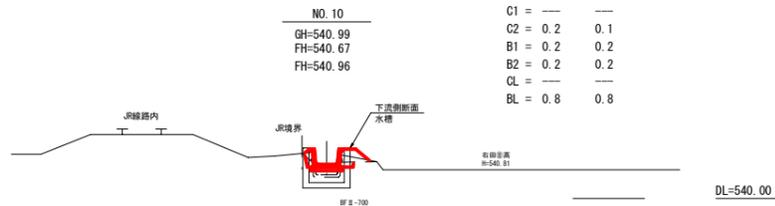
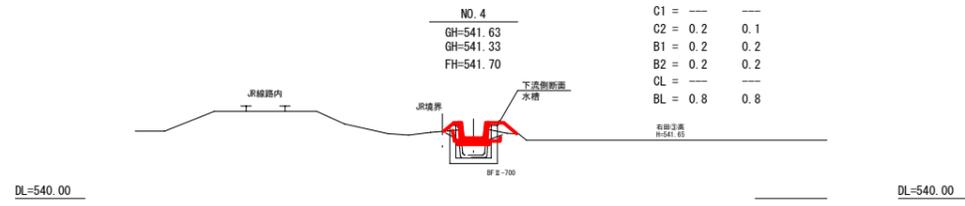
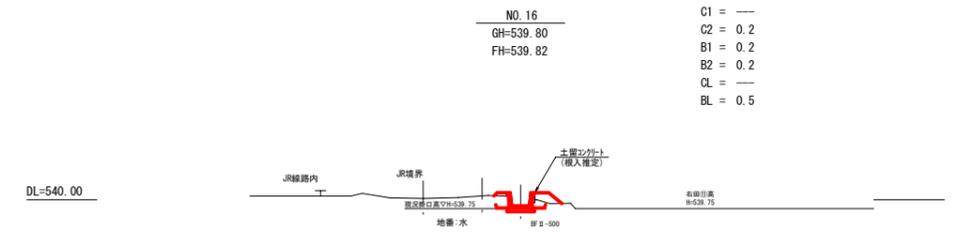
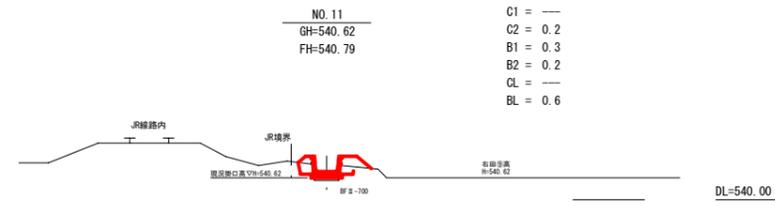
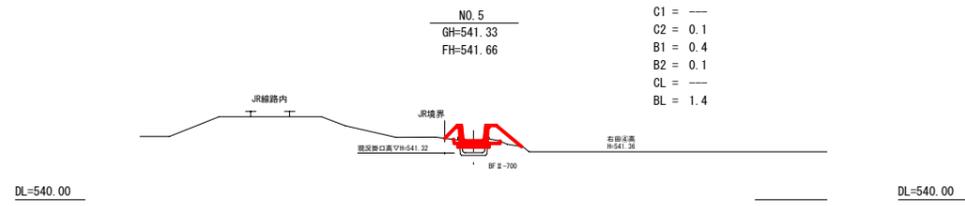
縦断面図

事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	縦断面図 (1/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	2 / 6
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			



勾配図																							
盛土			0.01		0.02		0.05	0.07	0.37	0.33		0.21	0.17		0.11		0.29		0.17		0.09		
切土																	0.01	0.03					
計画高		542.10	542.05	542.03		541.88		541.76	541.70	541.66		541.44	541.36		541.22	541.16	541.00	540.96		540.79		540.58	540.37
地盤高		542.10		542.02		541.86		541.71	541.63	541.33	541.33		541.23	541.19		541.11	541.01	540.96		540.62		540.49	540.37
追加距離		0.00		20.14		61.92		97.36	113.96	119.40		146.09	156.38		173.85	201.33	205.84		227.03		252.76	279.41	
単距離		0.00		20.14		41.78		35.44	16.60	5.44		26.69	10.29		17.47	27.48	4.51		21.19		25.73	26.65	
測点名		BP		NO.1		NO.2		NO.3	NO.4	NO.5		NO.6	NO.7		NO.8	NO.9	NO.10		NO.11		NO.12	NO.13	NO.14

横断面图



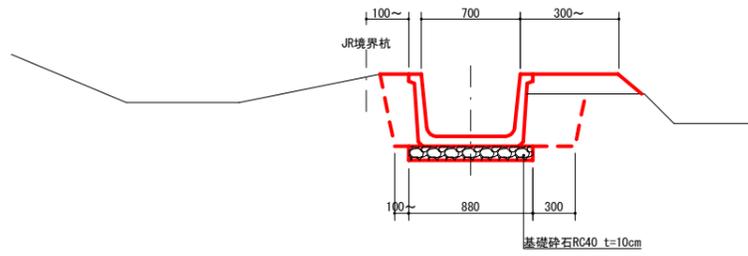
事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業
地区名	穂高地区 青木花見工区
図面名称	横断面図 (1/2)
縮尺	図示 (A1) 3 / 6
作成年月日	
測量	長野県土地改良事業団体連合会
設計	長野県土地改良事業団体連合会
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)
施工	

※特記

- ◎ JRの近接工事となる為、施工には十分に注意すること。
- ◎ 境界杭の紛失なき様に施工すること。

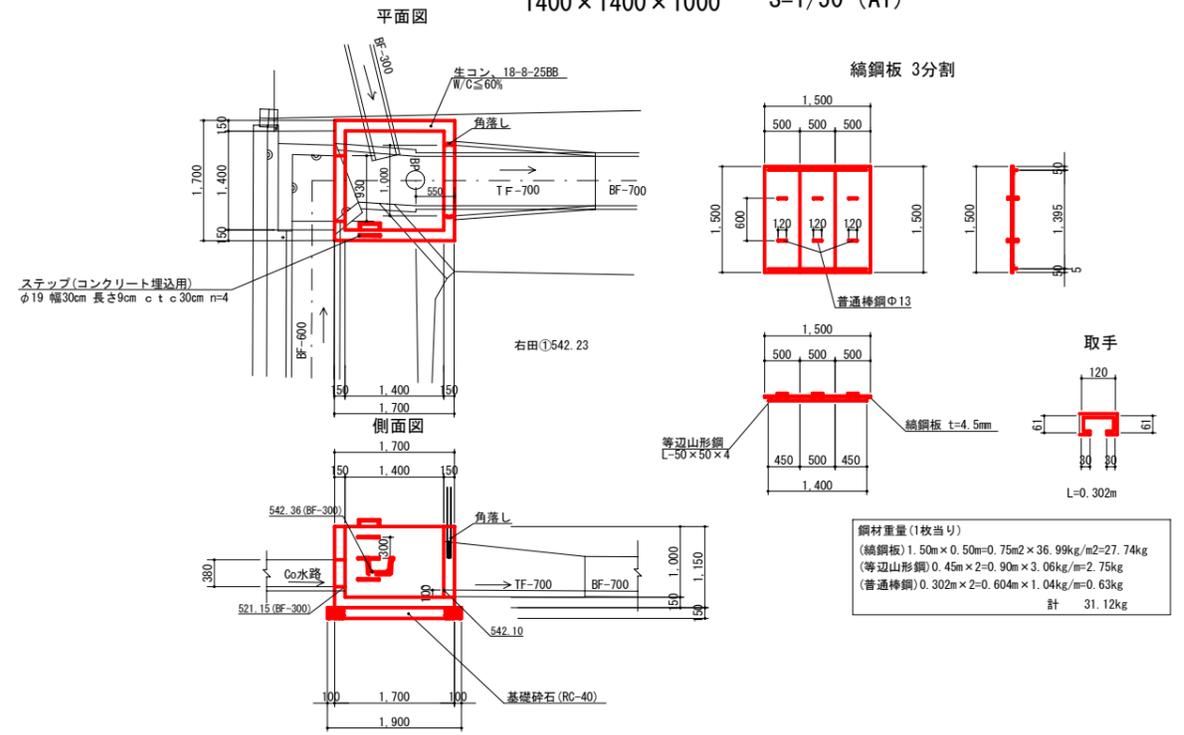
標準断面図・構造図 S=1/25 (A1)

(BP~No.13 区間)
BF-700(Ⅱ)型



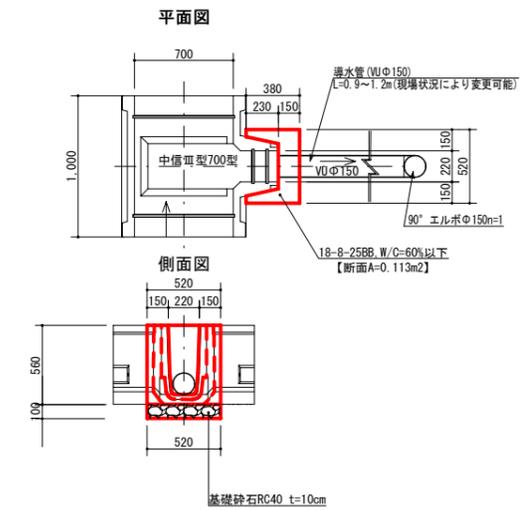
現場打水槽工

1400×1400×1000 S=1/50 (A1)



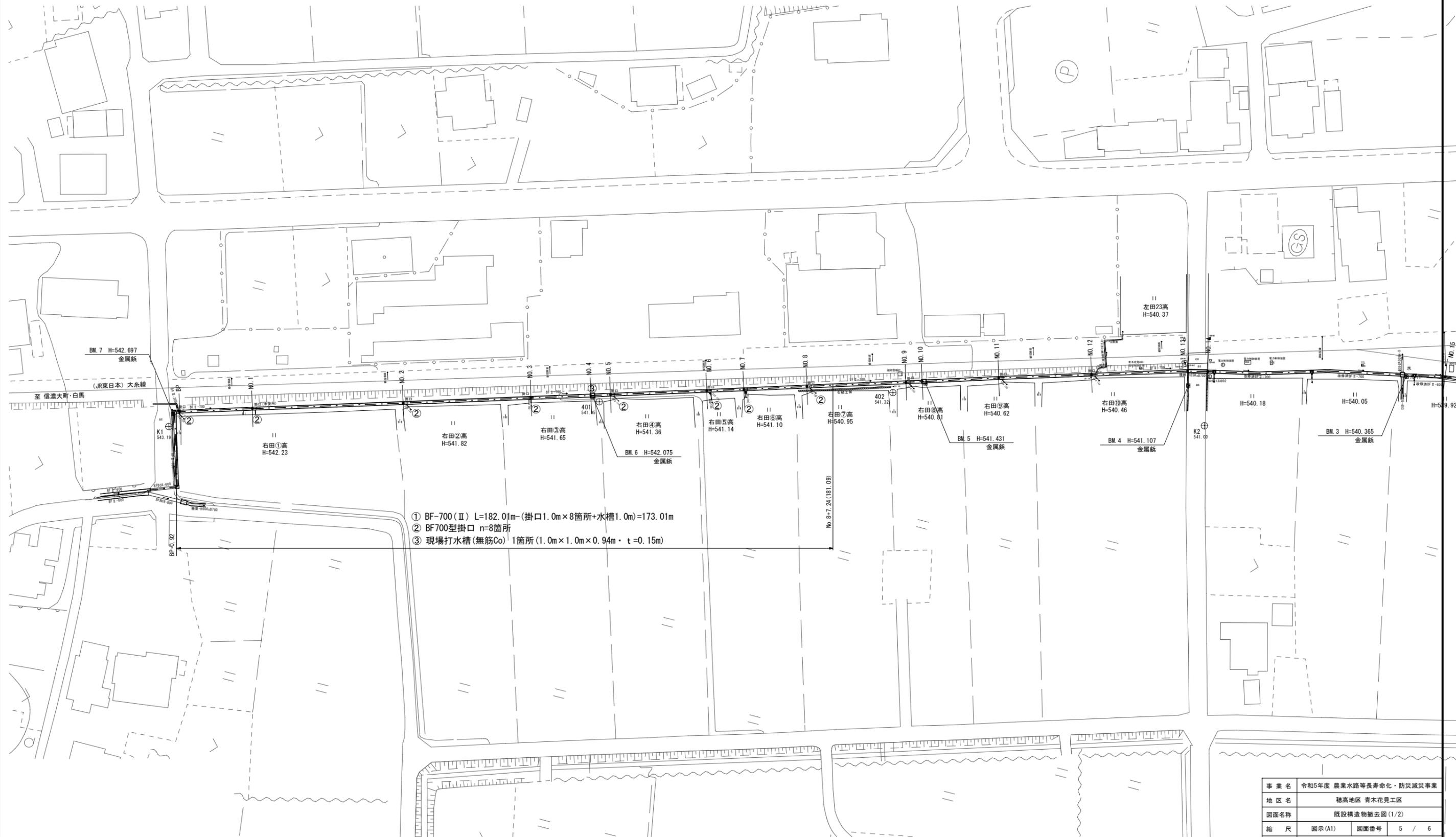
導水管巻立Co工

掛口(中信Ⅲ型 700型)



事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業
地区名	穂高地区 青木花見工区
図面名称	標準断面図・構造図
縮尺	図示(A1) 図面番号 4 / 6
作成年月日	令和 年 月
測量	長野県土地改良事業団体連合会
設計	長野県土地改良事業団体連合会
発注主体	安曇野市(耕地林務課)
施工	

既設構造物撤去図 S=1/500



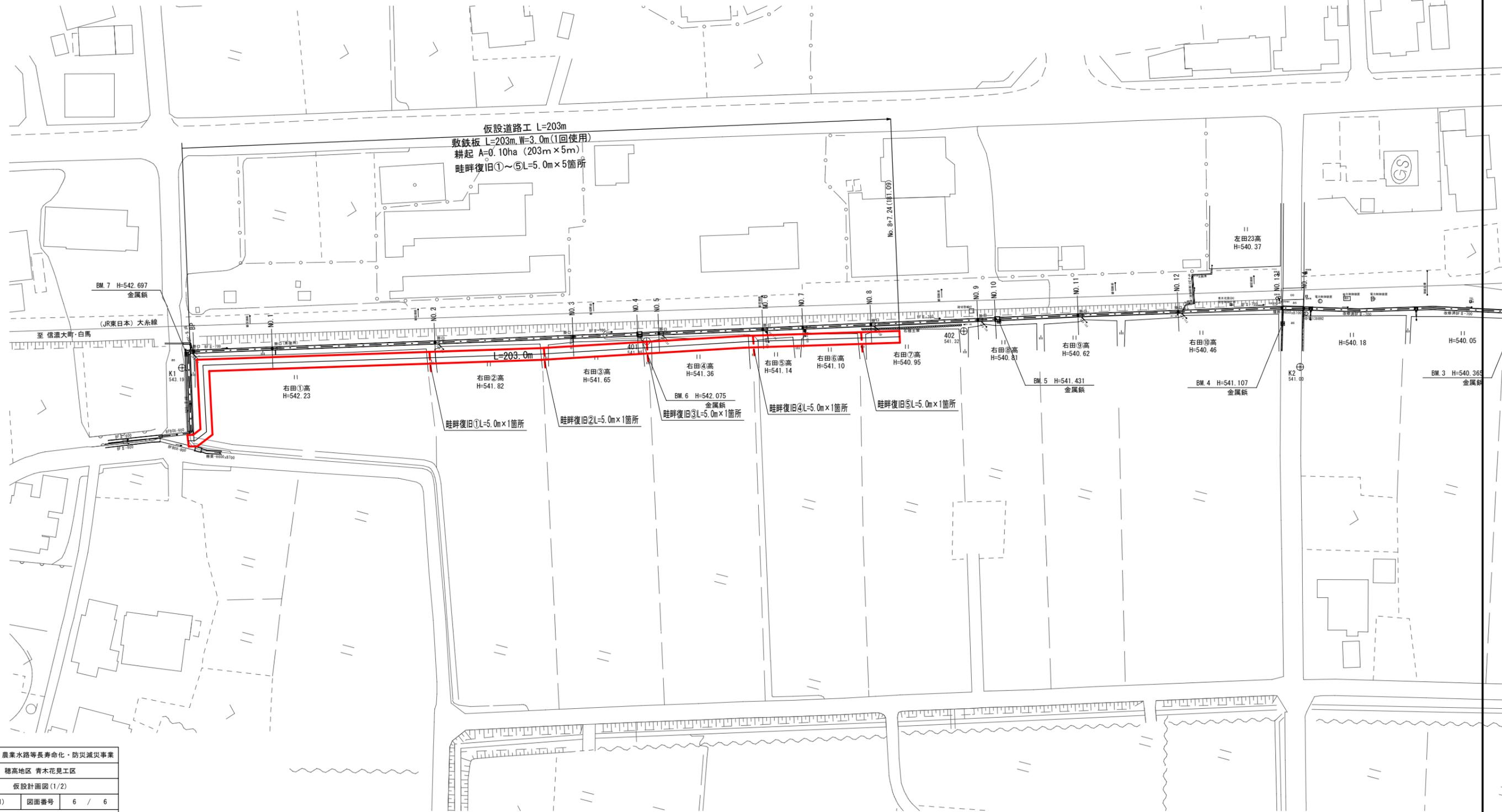
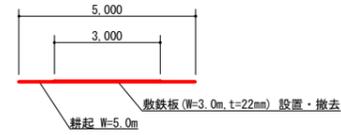
- ① BF-700(Ⅱ) L=182.01m-(掛口1.0m×8箇所+水槽1.0m)=173.01m
- ② BF700型掛口 n=8箇所
- ③ 現場打水槽(無筋Co) 1箇所(1.0m×1.0m×0.94m・t=0.15m)

事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	既設構造物撤去図(1/2)		
縮尺	図示(A1)	図面番号	5 / 6
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市(耕地林務課)		
施工			

仮設道路(敷鉄板) S=1/100 (A1)

【※特記】

- ◎ 進入路造成に伴う不足土運搬については「6.0km以内」を想定している。
- ◎ 運搬距離については、監督員と協議をのうえ変更対象とする。



事業名	令和5年度 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
地区名	穂高地区 青木花見工区		
図面名称	仮設計画図 (1/2)		
縮尺	図示 (A1)	図面番号	6 / 6
作成年月日	令和 年 月		
測量	長野県土地改良事業団体連合会		
設計	長野県土地改良事業団体連合会		
発注主体	安曇野市 (耕地林務課)		
施工			

青木花見 地区

グループ単価数量計算調書

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
G1060		現場打水槽工 1400(L)×1400(W)×1000(H)	1箇所当り			
基礎碎石	RC-40 t=15cm	$1.90^{[m]} \times 1.90^{[m]} =$	3.610	\div 3.61	m2	
型枠	外側	$1.70^{[m]} \times 1.15^{[m]} \times 4^{[面]} =$	7.820			
	内側	$1.40^{[m]} \times 1.15^{[m]} \times 4^{[面]} =$	6.440			
	控除 (開口)流入部	$0.93^{[m]} \times 0.38^{[m]} \times 2^{[面]} =$	Δ 0.707			
	控除 (開口)TF-700	$1.11^{[m]} \times 1.15^{[m]} \times 2^{[面]} =$	Δ 2.553			
	控除(開口)円形φ150	$[(0.15^{[m]} \times 0.15^{[m]} \times 3.14)/4] \times 2^{[面]} =$	Δ 0.035			
	控除 (開口)BF-300	$0.36^{[m]} \times 0.24^{[m]} \times 2^{[面]} =$	Δ 0.173			
	計		10.792	\div 10.79	m2	
生Co・養生	全体	$1.70^{[m]} \times 1.70^{[m]} \times 1.15^{[m]} =$	3.324			
18-8-25BB (W/C≦60%)	控除(内側)	$1.40^{[m]} \times 1.40^{[m]} \times 1.00^{[m]} =$	Δ 1.960			
	控除 (開口)流入部	$0.93^{[m]} \times 0.38^{[m]} \times 0.15^{[m]} =$	Δ 0.053			
	控除 (開口)TF-700	$1.11^{[m]} \times 1.00^{[m]} \times 0.15^{[m]} =$	Δ 0.167			
	控除(開口)円形φ150	$[(0.15^{[m]} \times 0.15^{[m]} \times 3.14)/4] \times 0.15^{[m]} =$	Δ 0.003			
	控除 (開口)BF-300	$0.36^{[m]} \times 0.24^{[m]} \times 0.15^{[m]} =$	Δ 0.013			
	計		1.128	\div 1.13	m3	
ステップ	コンクリート打込み用 (φ19幅30cm)	$4^{[本]} =$	4.00	\div 4	本	T4588

